

一般質問

学校統廃合ありきの議論はNO!



佐々木とも子市議

調査で啓発を図っていきたくて答えました。

佐々木とも子市議は、学校の適正規模・適正配置の検討は、統廃合ありきで進めるべきではないと質問しました。学校教育部長は、「8月設置の審議会に必要な情報を提示し、統廃合の可能性も含めて、丁寧な議論を進めていくことが必要」と、少子化=統廃合を否定しませんでした。容器包装プラスチックの早期資源化を求める質問には、環境資源部長が、資源ごみ処理施設を相原地区、上小山田地区に整備し、事業系ごみへの混入も組成

「ガサを入れる」は止めよ



殿村健一市議

た。市は、安全性の確保をJR東海に要請すると答弁。③バス交通について、山崎バスセンター前バス停の利便性向上と安全対策を求め、部長は、神奈中に要請すると答弁。市民病院前バス停に屋根の設置、まちっこ・公共施設巡回ルートの改善を求めました。

殿村健一市議は、①市税や国保税の滞納整理について、戦後の国税徴収法改正に関わった法学者・我妻栄氏の言葉、滞納整理は「慎重にも慎重を」の示唆について質問。部長は、教え通りやっていると答弁。しかし、財産調査の時「ガサを入れる」と言われたと市民から苦情が出ていることは重大だと、是正を求めました。②リニア中央新幹線小山田立坑工事については、通学路における1日140台のダンプカーの危険の安全対策を訴えまし



小山ヶ丘を通るリニア工事のダンプカー(6/5)

まちづくりに住民の声を活かせ



細野りょう子市議

聞いて、助言していく」と下水道部長が答弁しました。

細野りょう子市議は、高齢者の聞こえの支援のテーマのほか、南町田の商業施設開始を前に地元住民の歩行者や自動車の交通の安全を求めて一般質問。横断歩道や信号機については住民の要望を実現することや、鶴間小そばの246号線入り口の誘導員の常時配置を求め、都市づくり部長が「東急に要望する」と答弁。金森西田調節池工事で6月16日に起きたクレーン車転倒事故について原因や対策の説明を住民に行うよう求め、「内容を

市民の願いに応じて図書館存続を



田中美穂市議

田中市議は、保育園等の散歩ルートの安全確保について、早急に点検と改善を行うことを求めました。子ども生活部長から、園から危険箇所について情報提供してもらい警察等と連携して対応すると答弁がありました。

田中美穂市議は、図書館の視聴覚資料の貸し出しを中央図書館だけでなく、各館で予約取り寄せを実施することを求めました。生涯学習部長から予約貸し出しは考えていない、と答弁がありました。近隣市では実施している自治体が多いことを明らかにし、実現を求めました。また、鶴川図書館、さるびあ図書館の集約化(廃止)について、図書館空白地域が増え、さらに移動図書館の削減も出されているのは大問題であり、存続することを強く求めました。

小・中学校での熱中症対策

強化求める請願採択

市内小・中学校の運動会・体育祭が集中した5月下旬、30度を超える猛暑日が続きました。各学校は、テントの設置や休憩時間を多めにするなどの対策はとったものの、市内5校で20人の児童生徒が救急車で病院に搬送されました。



七国山小学校運動会
児童席の日よけテント
(6月)

市内小中学校のPTA連合会などから「熱中症対策の強化を求める請願」が提出され、対策の強化、PTAの講習会への参加、テントの確保などを要望する請願は全会一致で採択されました。殿村健一市議の熱中症対策の質問に対して、町田市は、

5月の学校の対応は不十分だったと謝罪、ただちに対応の徹底を指示したと答弁。テントやミストの増設については、学校の状況を踏まえ検討すると答弁しました。高齢者世帯へのエアコン設置助成、公園に水場の増設も求めました。

野津田公園

バラ広場の存続を求める請願提出される

町田市内で多くの種類のバラが楽しめる野津田公園のバラ広場をご存じですか。しかし、スポーツ公園としての施設充実を目指してテニスコート4面を整備するため、現バラ広場の移転が計画されています。8000㎡のバラ広場が、4000㎡になると昨年6月議会で説明されましたが、さらに2

800㎡に計画が変わることになり、6月議会に、「野津田公園バラ広場の現在地での存続・拡充を求める請願」が周辺地域の方から1600人を超える署名を添えて提出されました。建設常任委員会の質疑の中で、野津田公園やバラ広場を愛好してきた地域住民に町田市から十分



野津田公園のバラ広場

な説明が行われていないということも明らかになり、なお調査を必要とするというところで継続審査になりました。地域住民や市民ボランティアの協力もあって有効に活用され、その魅力を高めてきた野津田公園。場所の移転や計画の変更にあたっては、当事者や市民の意見を聞き、合意形成を図ることが必要です。

共産党提出

アメリカ合衆国の核実験に抗議する決議

可決

2019年2月に米トランプ政権のもとで2度目の核実験が行われたことに対し、町田市議会として抗議をする決議を共産党市議団が議員提出議案として提案し、賛成多数で可決されました。2017年に核兵器禁止条約が採択されていること、町田市は、「非核平和都市」として「あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に向かって訴える」と宣誓していることから核実験は容認できないため、米国の核実験に抗議し、今後の実験の中止を要求することを決議しました。

無料法律相談

お気軽に

9月11日・25日(水)

町田市役所3階 日本共産党会派室
※場所が変わることがあります。予約時にお確かめください。

毎月 第2、第4水曜日
午後2時～

要予約 ☎042(723)6312